

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

- ★最初のISS構成要素打上げから1747日経過しました
- ★第7次長期滞在クルーのISS滞在は127日経過しました

★プログレス補給船(12P)打上げ、ドッキング成功

日本時間8月29日(金)午前10時48分にソユーズロケットによりバイコヌール宇宙基地(カザフスタン共和国)から打ち上げられたプログレス補給船(12P)は、予定より2分早く、同8月31日(日)午後0時40分にISSとドッキングしました。

このプログレス補給船には、酸素、水、食料、燃料、予備品等の他に、NASDAの高品質タンパク質結晶生成プロジェクトの第2回宇宙実験用のタンパク質試料や、第8次長期滞在クルーと共に10月にISSに到着する予定の欧州宇宙機関(ESA)の宇宙飛行士、ペドロ・デューケが行う予定の実験装置などを搭載しています。



プログレス(12P)から見たISS (8月31日) プログレス(12P)と同型のプログレス(11P) (8月31日)

“コロンビア号事故調査報告”

コロンビア号事故調査委員会(CAIB)は、日本時間2003年8月26日(火)に事故調査結果最終報告書の本文を公表しました。

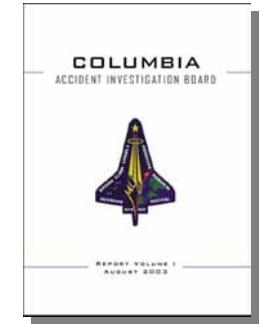
最終報告書は6分冊で構成され、今回公開されたのはその第1分冊(248ページ)です。他の分冊については、数週間後に公開される予定です。

報告書本文は、パート1: 事故、パート2: なぜ事故は起きたのか、パート3: 将来に向けて、及び付録で構成されており、勧告29件、所見123件、改善事項27件が示されています。

この29件の勧告には、断熱材の損失の防止、打上げから外部燃料タンク分離までの映像取得の改善、熱防護システムの軌道上での検査・修理、運用に関する事などが含まれています。

報告書原文(英語)は以下のページから入手できます。

<http://www.caib.us/news/report/>



コロンビア号事故調査報告書

“お知らせ”

来週開催されるイベントをふたつご紹介します。

★筑波宇宙センター特別公開開催案内

9月12日は、「宇宙の日」。1992年のこの日、毛利宇宙飛行士が日本人として初めてスペースシャトルで宇宙へ飛び立ちました。この「宇宙の日」にちなんで、9月13日(土)、筑波宇宙センターでは「宇宙と芸術」をテーマに恒例の特別公開が行われます。毎回人気の各プロジェクト紹介、実験コーナー、水口ケット教室に加え、「第13回モデルロケット全国大会(主催:日本モデルロケット協会)」も同時開催されます。そして今回初の催しとして、夕方からジャズコンサートも行われます。

10月からの新組織「宇宙航空研究開発機構」への移行を目前に控え、今回が宇宙開発事業団として最後の特別公開になります。通常の一般見学では見ることができない施設も公開されますので、この機会をお見逃しなく。

筑波宇宙センターまでの案内は下記をご覧ください。

http://www.nasda.go.jp/pr/visit/tksc/index_j.html



今年4月の特別公開の様子

★第25回宇宙ステーション利用計画ワークショップ開催案内

9月9日(火)・10日(水)、国際宇宙ステーション(ISS)計画に関して、広く国民一般の理解を深め、ISS/「きぼう」日本実験棟の利用の拡大・多様化を図るとともに、参加者(利用コミュニティ)の意見を取りまとめ、今後のISS/「きぼう」利用計画等に反映することを目的として、「第25回宇宙ステーション利用計画ワークショップ～国際宇宙ステーション利用の現状と新たな展開～」が開催されます。

無料で、どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

・日 時: 9月 9日(火)・10日(水) 9:30~17:30

・開催場所: 砂防会館 シェーンバッハ・サポー(東京都千代田区平河町2-7-5)

詳細は、<http://jem.tksc.nasda.go.jp/utiliz/workshop/25/index.html>をご覧ください。



2003年10月1日から宇宙開発事業団は独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)に移行します。

問い合わせ先: 宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp/> Eメール kibo-koho@nasda.go.jp

※「ISS・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本 ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。

